

秋田市教育委員会  
平成27年10月定例会  
(資料)

【目次】

教育長等の報告

- |                                |   |   |
|--------------------------------|---|---|
| (1) 会計検査院による指摘について             | … | 1 |
| (2) 旭化成建材が過去に下請負として杭工事をした件について | … | 2 |
| (3) 雄和小学校の校章について               | … | 3 |

## 会計検査院による指摘について

### 1 概要

会計検査院が平成26年度に行った文部科学省関係（小中学校施設）の会計検査結果が、10月26日に公表された。この中で、本市小中学校施設の維持管理について、該当する指摘事項は以下のとおりであった。

### 2 指摘事項

- (1) 建築基準法第12条に基づく点検を適切に実施していない。
  - ・学校施設の管理者は、学校施設の損傷、腐食その他の劣化状況を点検させなければならないとされている。
  - ・本市では、教育委員会総務課職員が、学校施設の不具合箇所について、定期的かつ日常的に点検し把握しているが、建築基準法第12条で規定する項目を網羅しているとは言いがたいとして、指摘の対象になったものである。
- (2) 消防法に基づく定期的な点検は実施していたが、是正事項を早期に是正していない。
  - ・学校施設の管理者は、消火設備等について、6か月または1年ごとに点検を実施することとされており、不良と判定された箇所については、是正しなければならないこととされている。
  - ・本市では、点検は実施しているが、不良箇所を早期に是正していないものもあるとして、指摘の対象となったものである。

### 3 本市の対応

- (1) 建築基準法に基づく点検について  
今年度策定を進めている「秋田市学校施設長寿命化計画」において全小中学校施設の劣化状況等の調査をすでに行っているところであり、さらに今後は本市で実施してきた点検項目に、不足していた点検項目を追加し、所定の点検様式に改善することにより、今年度内に建築基準法第12条に基づく点検を完了する。
- (2) 消防法に基づく是正について  
平成26年度の消火設備等の点検で不良と判定された項目については、平成27年度是正のための予算を確保しており、今年度中に解消すべく、順次是正を進めているところである。

## 旭化成建材が過去に下請負として杭工事をした件について

三井不動産グループが販売した横浜市のマンションで、二次下請負の旭化成建材(株)が、杭工事の際に虚偽のデータに基づいて工事施工したことが10月13日に明らかになり、22日国土交通省において、都道府県別・建物種別の施工件数が公表された。

本市が独自で調査したところ、平成21年度に建設した港北小学校屋内運動場(体育館)棟の杭工事を当該業者が施工したことが判明したため、その状況について報告するものである。

### 1 杭工事施工体制等の比較

項目	横浜市マンション	港北小学校体育館棟
(1) 施工体制		
販売元	三井不動産	秋田市
元請け	三井住友建設	三菱マテリアル・千代田興業 J V
一次下請け	日立ハイテクノロジーズ	(株)吉田産業秋田支店
二次下請け	旭化成建材(株)	旭化成建材(株)【管理技術者】
三次下請け	—	(株)畠山産業 【施工業者】
(2) 杭工事の施工		
①支持層調査	地盤調査(ボーリング調査) ・構造計算上必要な地盤強度(N値)を確認	
②杭の種類	既製コンクリート杭	先端翼付鋼管杭 (全72セット)
③施工方法	プレボーリング根固め工法 ・ドリルで掘削 ・支持層の確認は、ドリルの駆動電流変化値で管理 ・根固め液を注入 ・杭を挿入、定着	回転貫入工法 ・杭の固定 ・杭の回転埋設 ・支持層の確認は、杭回転駆動のトルク値で管理

### 2 港北小学校体育館棟の杭工事の検証

平成21年の港北小学校屋内運動場増改築杭工事の施工時における設計書、図面、工事写真、地質調査報告書、杭工事施工報告書などを確認し、全72セットの杭が支持地盤に埋設されていることを確認し、安全上問題がないと判断した。

## 雄和小学校の校章について

### 1 概要

平成28年4月1日に開校する雄和小学校の校章について、雄和地域の4小学校（川添小学校、種平小学校、戸米川小学校、大正寺小学校）の児童に校章作成への参加意識と、出来上がった校章への愛着を持っていただくことを主旨として、おおむね次の工程により校章の作成を進めてきた。

- (1) 校章デザインの原案は、4小学校の児童のうち、5・6年生を対象に募集した。（応募点数 111点）
- (2) 募集作品から一次選考で4点を優秀作として選定し、これを対象に、作成児童と秋田公立美術大学との協同作業によるデザインの仕上げを、ワークショップ形式で行った。
- (3) ワークショップで作上げられたデザインを基に、最終選考で採用作品を決定した後、同大学の五十嵐教授から単色デザインなどの最終調整を受けた。

### 2 選考結果

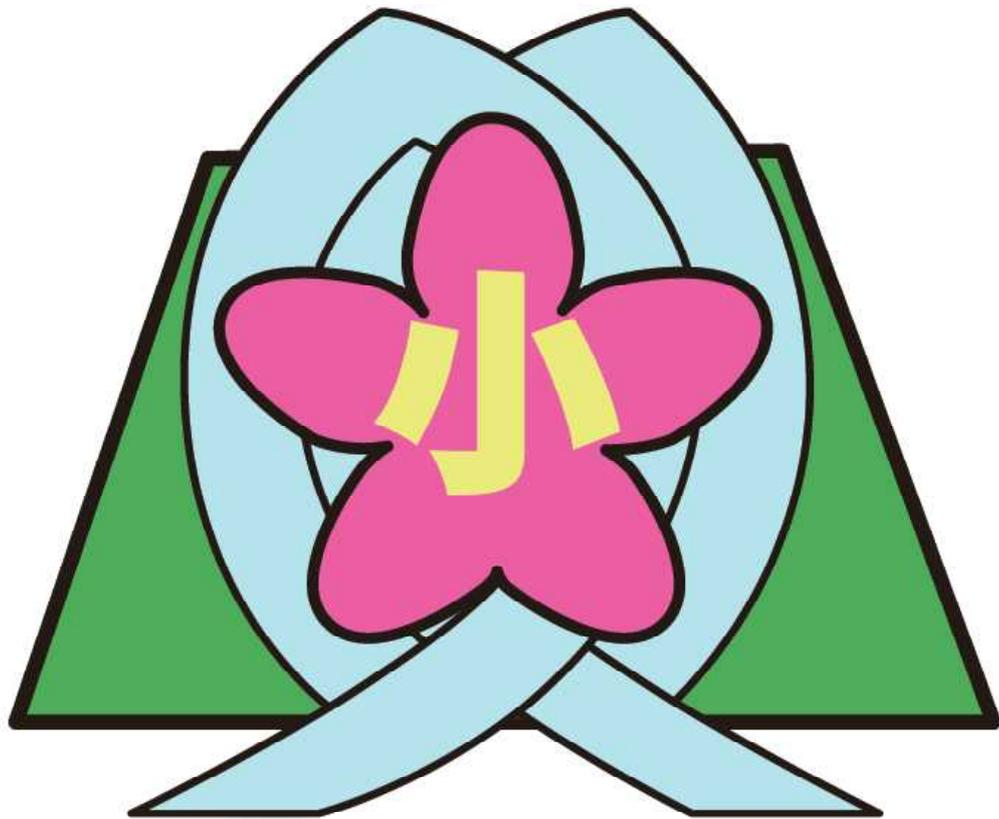
- ・採用作品のイメージについてはデザイン図のとおり
- ・採用作品のデザイン・コンセプトは次のとおり

真ん中の花は雄和の花である「つつじ」、後ろの台形は「高尾山」、花を囲む曲線は「雄物川」で、4本の流れで雄和の4校が交わる様子をイメージしたもの

### 3 作業工程

- ・平成27年7月23日まで 雄和地域小学校4校児童から校章デザイン募集
- ・ 7月30日 選定委員会により優秀作品4点選考
- ・ 9月12日 秋田公立美術大学との協同ワークショップ開催
- ・ 10月6日 選定委員会により採用作品1点を決定
- ・ 10月15日 秋田公立美術大学による最終調整
- ・ 10月26日 校章デザイン決定

雄和小学校校章（カラー）



雄和小学校校章（单色）

1 单色（基本）



2 单色（反転）

